

= Match Report =

第49回鳥取県高等学校総合体育大会サッカー競技の部

決勝戦

2015年 6月 7日 (日)

kick off 会場(どり・ドラパーク東山陸上競技場)

マッチNO.【 28 】

米子北

高校(鳥取県) vs

境

高校(鳥取県)

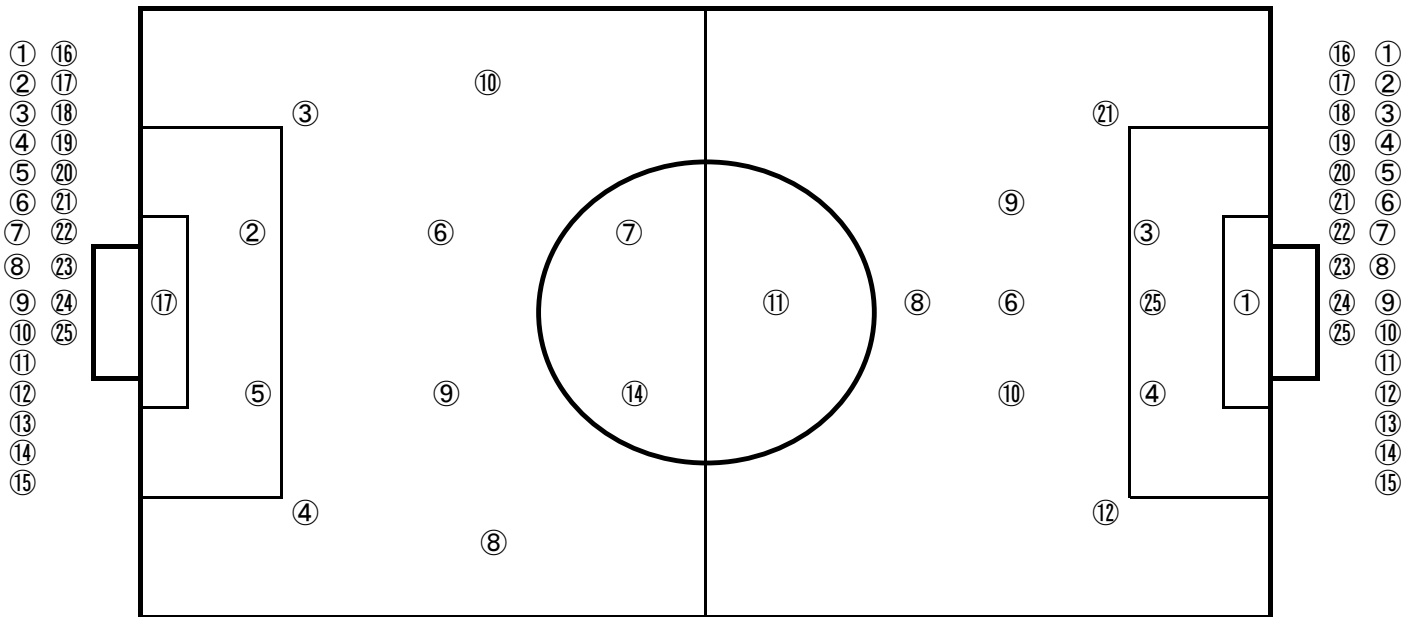
2

0 - 1
2 - 0
-
-
PK

1

米子北 高校
基本システム 4 - 4 - 2

境 高校
基本システム 5 - 4 - 1



【Match Report】

今年度の決勝戦は2年ぶりに米子北と境の対決となった。心地良い風の吹く穏やかな晴天の下、大観衆の見守る中、熱戦の火蓋が切って落とされた。決勝までの3試合で得点力の高さを見せてきた米子北は、2トップへのロングボールで相手のディフェンスラインを押し下げ、そのセカンドボールを拾って起点を作ると、そこからサイドへ展開した後、クロスボールやくさびからの連動した攻撃で境ゴールに迫る。一方、決勝まで無失点で勝ち上がった境は、堅い守備からリズムを掴もうとする。③佐蔵、④田子が米子北の2トップにマンマークで付き、②⑤森脇が1枚余ってカバーする形で中央を固める。さらに、米子北の両SH⑧江口、⑩山室に対しても、⑫半谷、⑪阿部が常にマークについてフリーにさせず、相手のサイド攻撃を封じる。ボールを奪うと、シンプルに⑪古好へ向かってロングボールを入れて起点を作り、⑧住田、⑨阪田、⑩片山が絡んだカウンターで得点を狙う。米子北は前半15分を過ぎたあたりから、両SBも高い位置を取り、CB2枚を残すだけの状況で攻撃に厚みを加えて攻め込む。すると、前半25分、境のロングボールを⑪古好が受けると、米子北の両サイドバックが高い位置を取っていたため、一気に2対2の状況になり、そのままドリブルで相手を振り切り先制点を挙げた。このまま境がリードを保ち前半を終えた。後半、米子北は⑨岡本を下げて⑪崎山をFWに投入、⑦小嶋をボランチへ下げて臨んだ。すると、このポジション変更が開始早々に功を奏す。後半3分、境のディフェンスラインをペナルティエリア内まで押し下げると、1度シュートブロックされたこぼれ球に⑦小嶋が素早く反応して豪快なミドルシュートを決め同点に追い付く。これで勢いを増した米子北は勝ち越しを狙って攻勢に出るが、境も粘り強い守備で得点を許さず、逆にカウンターから⑪古好、⑨阪田、⑧住田のドリブルで得点チャンスを作り出す。互いに追加点のないまま迎えた後半19分、米子北の選手交代直後、右サイドからのクロスボールをファーサイドでフリーとなっていた⑩山室が直接ヘディングで合わせて待望の逆転ゴールを奪う。その後も米子北は素早い攻守の切替から高い位置でボールを奪い、攻撃の手を緩めず追加点を狙う。境も最後まで集中力を切らすことなく体を張って相手の攻撃を跳ね返し、同点ゴールを狙ったがゴールネットを揺らすことはできず、2-1で米子北が勝利を収め、全国大会への切符を手にした。敗れはしたが、相手の攻撃を防ぎ続けながら見事なカウンターで得点を奪った境は、決勝にふさわしいよく鍛えられたチームであった。その相手にリードを許しながらも、焦ることなく後半を戦い勝利した米子北の勝負強さが全国大

記載責任者

所属(鳥取県立鳥取湖陵高等学校)

氏名(

安田 一将

)